

つくば市行政改革大綱実施計画（行政改革マニフェスト）
平成25年度実績・取組状況（概要版）

企画部行政経営課

1 実施計画（行政改革マニフェスト）の概要

実施計画（行政改革マニフェスト）は、平成22年度から平成26年度までの5か年間を計画期間として平成22年4月に策定したものです。

本計画は、126項目の実施項目で構成し、それぞれの項目に可能な限り数値目標を取り入れております。

なお、各項目にある数値目標や削減額等は原則的に平成20年度を基準としています。

2 平成25年度の実績状況

計画に位置付けられている126項目の実施項目のうち、平成25年度末までに119の項目に取り組み、着手率は94.4%となり、平成25年度の効果額は、約8億4,300万円となりました。

平成25年度に取り組んだ主な項目は、市内研究機関との連携、学校給食センター適正配置の推進、市立病院のあり方の検討などとなっています。

3 削減（効果）額

歳入・歳出別で見ると、歳入に係る効果額（収入増額）は、3億2,601万円、歳出に係る削減額は、5億1,698万円になりました。

平成25年度の効果額は、各実施項目の取組前と比較すると8億4,300万円となりました。

平成25年度の削減（効果）額の主なもの（は20年度比）

歳入に係るもの

- ・市税等の滞納額の削減.....租税債権管理機構移管による削減額
97,551千円
- ・下水道への加入促進.....使用料増収額 67,328千円
- ・上水道への加入促進.....新規加入者水道料金収入 46,268千円

歳出に係るもの

- ・定員適正化計画の推進.....削減額 1,212,955千円
- ・医療費適正化の推進.....レセプト内容点検による効果額
86,191千円
- ・経常経費の削減.....削減額 762,203千円

平成25年度に取り組んだ主な項目

・市内研究機関との連携

イノベーションを育み、社会の発展に貢献する都市へ

- ・つくば国際戦略総合特区に3つの新規プロジェクト追加
- ・藻類バイオマスエネルギーの実用化プロジェクトに関し、大規模実証施設が完成、実証実験スタート
- ・生活支援ロボット安全検証センターを活用し、ISO 13482を発効
- ・セグウェイシェアリングシステムの運用開始

- ・GIANTハイレベルフォーラム(米国)への参加
- ・仏国グルノーブル市との姉妹都市協定締結
- ・中国、韓国等諸外国の視察受け入れ

- ・つくばチャレンジの実施
- ・つくば奨励賞の顕彰
- ・イノベーションフォーラムinつくばの開催(全国の高校生を対象とした人材育成事業)
- ・物理オリンピック・地学オリンピックの共催等

・学校給食センター適正配置の推進

学校給食の適正な環境を確立し、学校給食の向上を図るため、学校給食センターの適正配置を推進する。

- ・平成25年8月 谷田部学校給食センター解体工事設計委託
- ・平成26年1月 つくばすこやか給食センター豊里完成
- ・平成26年2月 谷田部学校給食センター土壌調査
- ・平成26年4月 つくばすこやか給食センター豊里供用開始

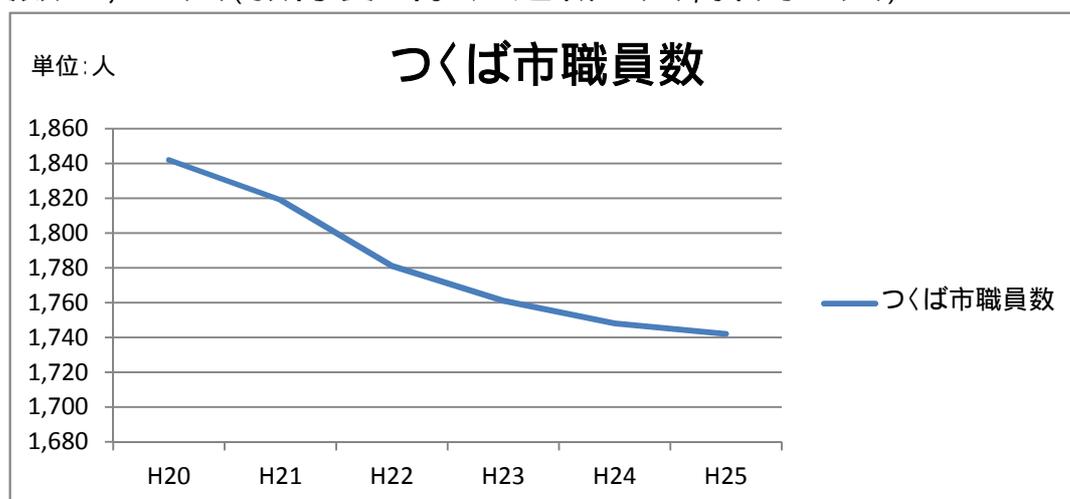
・市立病院のあり方の検討

市立病院のあり方及び市内周産期医療体制の調査・検討を行う。
市民の出産環境の充実を図るため、

- ・平成25年9月 つくば市寄附講座「総合周産期医学」及びつくば市バースセンターの設置

・定員適正化計画の推進

「定員管理指針」(H23.3月策定, 期間H23年度からH27年度)に基づき,
・6人減 削減額:292,774千円(前年比)
職員数:1,742人(教育長を除く 退職56人, 採用50人)



・旧庁舎跡地利用の検討

筑波庁舎跡地について,(仮)つくば紫峰学園の一部敷地として活用することが決定した。

- ・平成26年4月 (仮)つくば紫峰学園基本・実施設計等業務委託

・待機児童解消に向けた民間保育所の拡充及び公立保育所民営化の検討

- ・学園みらい保育園(90人)を創設
- ・つくば国際白梅保育園(60人)定員を拡充

今後も引き続き民間活力を導入しながら、保育所の整備を展開していく。

・品質管理の国際標準規格(ISO9001)の認証維持と適切な運営

「ISO9001つくば市行政サービス向上システム」に代わり、「つくば市マネジメントシステム(TMS)」を運用し、行政サービスの効率化や質的向上を図り、市民の利便性や満足度を高めることに努めた。

- ・窓口業務における市民アンケート調査結果
- | | |
|----|-----------|
| 8月 | 満足度:88.4% |
| 2月 | 満足度:87.7% |

・出資法人の経営健全化

・旧(財)つくば都市振興財団については、国際交流関係の事業を分離し、文化芸術の振興を主たる事業と位置づけ、平成25年4月より「公益社団法人つくば文化振興財団」として運営開始。

また、事業内容等の見直しを行い、財政面の安定と新たな事業の拡充を図った。

新たな取り組みの一つとして、NHK交響楽団による小学校でのアウトリーチ事業を始めた。